

事務事業名	森林鳥獣被害対策事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	S55	終了	
H27担当課等名	林務課		H27係等名	里山保全係		H26係等名	里山保全係					
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり									
目的	対象(誰・何を)	人工林有害鳥獣					対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	人工林へのカモシカ食害被害防止を図る鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣捕獲等の推進						カモシカによる造林被害団地数(団地)				4
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)						野生鳥獣捕獲頭数				2300
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	カモシカ個体調整頭数(頭)			5	4	5	5				
	成果指標	飯田市鳥獣被害対策実施隊員数				208	218	220				
	定性目標											
事業概要	<p>1 人工林において、ヒノキの幼齢木などへのカモシカによる食害被害拡大を防止するため、長野県が定めた特定鳥獣保護管理計画(カモシカ)の捕獲計画に基づき個体数調整を行う事業であり、林業・農業被害の発生を防止するため実施する。</p> <p>2 鳥獣による農林業被害を低減することで農林業者の生産意欲低下等に歯止めをかけ、農林業の振興を図る。有害鳥獣の捕獲等を効率的・効果的に行う実施隊員への報酬。</p>											
	事業内容				名称				活動指標			
26年度事業内容	1 カモシカ個体数調整業務委託(飯田市連合猟友会)				1 個体調整頭数				1 4頭			
	2 鳥獣被害対策実施隊報酬				程野、下栗、池口、熊伏 4団地				2 208人			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		338	3,292	3,240	2,899	(そ)鳥獣飼養許可手数料						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他		122	122	122	122							
一般財源		216	3,170	3,118	2,777							
人件費計(千円)②		536		536								
正規職員所要時間		150		150								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		874	3,292	3,776	2,899							
事業内容・目標達成状況の振り返り	カモシカ捕獲は被害のある4団地で4頭捕獲し、農林業への被害軽減を図った。平成26年10月に飯田市鳥獣被害対策実施隊が発足し、捕獲の推進を図った。											
改革改善の考え方	①問題点	1 特定鳥獣保護管理計画に基づく捕獲を実施しているが、個体数は増加傾向にある。 2 クマ、サル等の緊急時の対応を迅速に行うことが必要である。										
	②改革提案	捕獲だけの対策でなく、農地の防護対策等の指導も併せて実施していく必要がある。										